

小学5年 思考力テスト — 解答と解説

1

【例】 (1)

新せんなうちにきゅうりを売るため。

21

【例】 (2)A

生産者や産地を知らせることで、安心して買ってもらうことができるから。

22

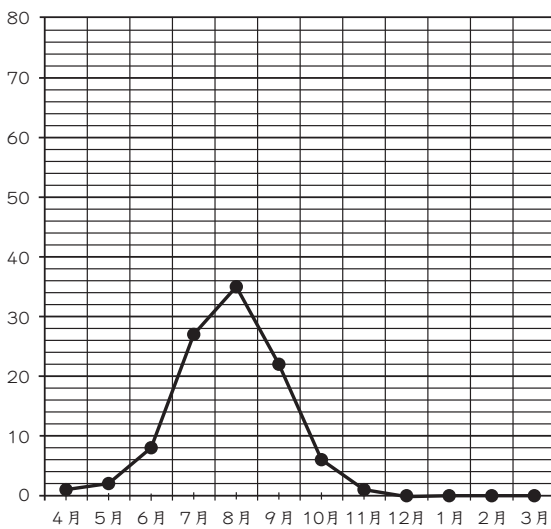
【例】 (2)B

リサイクル(再利用)できることを知らせる目的。

23

(3)

単位：百(t) 【グラフ】 福島県からの入荷量



24

(4)

ア	○	25
イ	×	26
ウ	×	27
エ	○	28

(配点)

- ②(1)、(2)……各2点
- ①(4)、(5)③、④……各3点
- ①(5)①、②……各4点
- ①(1)、(2)、(3)、③(1)たし算の答え、(2)……各5点
- ②(3)、③(1)式の数……各6点
- ①(6)……20点
- 計100点

【例】 (5)

① 1 1 月 から 3 月 までの 月 別 平 均 気

温

29

② 畑 で その ま ま き っ ゅう り を 栽 培 し て

いる

30

③ 冬 で も あ た た か い

31

④ ビ ニ ー ル ハ ウ ス

32

【例】 (6)

私	は	、	季	節	に	関	係	な	く	野	菜	や	果	物	が	食	べ	ら	れ
る	よ	う	に	な	っ	た	こ	と	に	と	て	も	感	謝	し	て	い	る	。
一	年	を	通	し	野	菜	を	食	べ	る	こ	と	が	で	き	る	の	で	、
私	た	ち	は	栄	養	不	足	を	心	配	す	る	こ	と	な	く	生	活	で
き	る	か	ら	だ															

33

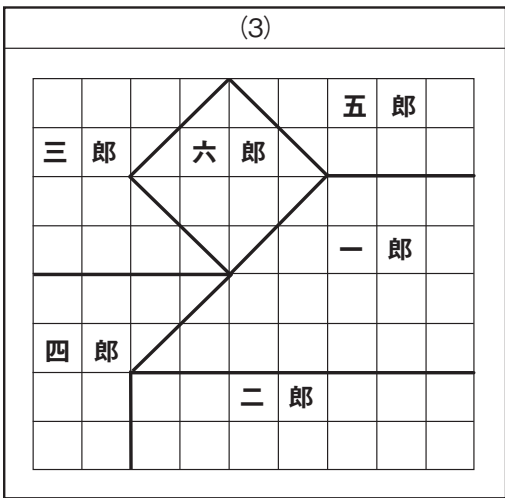
2

(1)

㊦	4	(a)	㊩	42	(a)	㊫	14	(a)
		34			35			36

(2)

一郎さん	20	a	二郎さん	14	a	三郎さん	12	a
		37			38			39



40

3

(1) (2)

たし算の答え	15.96	式の数	4	通り	2.76
	41		42		43

【解説】

① 情報を整理して推論する問題

スーパーマーケットでの買い物を通じて、野菜の生産や販売で行われているさまざまな工夫を読み取り、自分の意見を組み立てていく問題です。複数の資料からわかるさまざまな情報に注目して、考えたことを自分の言葉でまとめます。

(1) B1 理由 関係づけ 推論

朝早く収かくしたきゅうりはとれたてで新せんですが、時間がたつにつれてせん度が落ちてきます。新せんでおいしいきゅうりを届けるために、高速道路などを使って時間をかけずに運ぶようにしていると考えられます。この問題では、①正しい内容が書かれているかどうか、②①に過不足がなく、表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

(2) C1 理由 推論 具体・抽象

A きゅうりのふくろに生産者の名前が書かれていることがありますが、これにはさまざまな意味がこめられています。たとえば、生産者の名前があることで、生産したものに責任を持っていることを伝えたい、または、どんな人が生産しているのかわかってほしい、といった意味がこめられていると考えられます。このようなことがわかっていると、消費者も安心して買うことができることも考えられます。答えは1つだけではないので、この他にも、あなたの考えたことを書いてみましょう。

B 「プラ」と書かれたマークには、回るようにつけられた「矢印」があります。これと似たような矢印が「アルミ」や「スチール」などにもあります。これらはリサイクル(再利用)できるものであることを知らせる役目があります。

この問題では、①自分の考えが書かれているかどうか、②①に過不足がなく、表記や表現に誤りがないかどうかを中心にしています。

(3) B1 情報を獲得する 置き換え

グラフ1の「東北地方6県からの入荷量の合計」を参考にして、「福島県からの入荷量」のグラフをかきます。たてじくの目もり(横線)の間かくが「2」になっているので、たとえば「1を表す点」は横線と横線の間につくこととなります。点の位置をはっきり示し、ていねいにグラフをかくようにしましょう。

(4) B1 情報を獲得する 比較 推論

【表1】から、ア～エの文が正しいかどうかを判断する問題です。ただ数字をながめるのではなく、数字が表していることを考えながら見るようにしましょう。

ア 8月の東京都中央卸売市場への「全国からの入荷量の合計」は77(単位は百t)です。77のうち「東北地方6県からの入荷量の合計」は67をしめ、67のうち「福島県からの入荷量」は35をしめています。このとき、福島県をのぞく他の1県だけで $32(=67-35)$ をしめていたとしても、福島県が全国第1位であると判断することができます。したがって○が正解です。

イ 東京都中央卸売市場への「全国からの入荷量の合計」は最も多い月は8月で77、最も少ない月は12月で39です。 $77 \div 2 = 38.5$ より、最も少ない月は最も多い月の半分以上となります。したがって×が正解です。

ウ 6月から10月までの「福島県からの入荷量」と「東北地方6県からの入荷量の合計」を比べます。「福島県からの入荷量」は6月が8、9月が22、10月が6です。一方、「東北地方6県からの入荷量の合計」は6月が17、9月が47、10月が13です。これら3つの月については、半分以下になっていることがわか

ります。したがって×が正解です。

エ 4月から8月までの月ごとに着目すると、「福島県からの入荷量」は1、2、8、27、35、「東北地方6県からの入荷量の合計」は2、8、17、49、67と、共に増えていることがわかります。さらに、8月から11月までの月ごとに着目すると、「福島県からの入荷量」は35、22、6、1、「東北地方6県からの入荷量の合計」は67、47、13、3と、共に減っていることがわかります。したがって○が正解です。

(5) **B1** 情報を獲得する 比較 分類

メモをもとにして、指示通りに文章を作る問題です。学習発表などで発表文をまとめるときのことを思い出すなどして書いてみましょう。そのときに、メモに書かれた情報を正しく読み取ることが大切です。あてはめる言葉は、言葉のつながりが正しければそのまま書きぬいても、自分の言葉でまとめても、どちらでもかまいません。

- ① 福島県は宮崎県より「11月から次の年の3月までの月別平均気温」が低いことがわかります。この部分を利用して字数以内にまとめます。
- ② 福島県ではきゅうりを夏に栽培していますが、「きゅうりを畑でそのまま栽培することが多い」と書かれている部分に注目します。この部分を利用して字数以内にまとめます。
- ③ 宮崎県はどのような気候かを表す言葉が入ります。「冬でもあたたかい」と書かれているので、この部分を利用して字数以内にまとめます。
- ④ 宮崎県のきゅうりの栽培では何を使って保温しているのかを読み取ります。「ビニールハウスで栽培することが多い」と書かれているので、この部分を利用して字数以内にまとめます。

(6) **C1** 比較 推論 具体・抽象

栽培の工夫によって、季節に関係なく野菜や果物が食べられるようになりましたが、このことについて自分の考えと、そのように考える理由を書く問題です。野菜などが最もおいしくなる季節を「旬」といいますが、旬を感じられなくなってさびしい、あるいは一年中食べられることはありがたい、などいろいろな意見があると考えられます。自分なりに考えてまとめてみましょう。

この問題では、①季節に関係なく野菜や果物が食べられるようになったことについて自分の意見が書かれているかどうか、②①の理由が説明されているかどうか、③①～②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④ます目の使い方が正しいかどうか、⑤表記や表現に誤りがないかどうか、⑥字数制限を満たしているかどうかを中心に見ています（ただし、60字以上80字未満の解答については①～③のみ採点対象とし、④～⑥は採点対象としません。また、60字に満たない解答は①～⑥全て採点対象としません）。

② 土地の面積を求めて作図する問題

問題に示された条件をもとにして複数の人が持つ畑の面積を求め、畑の形をとらえる問題です。問題に示されている条件を正しく読み取り、図を活用しながら計算していきます。このとき、等しい部分に着目することがポイントです。また、条件に合うように畑の形を作図するため、マス目に図をかきこみながら考えるとよいでしょう。

(1) **B1** 情報を獲得する 順序立てて筋道をとらえる

問題にある図1、図2を利用して考えていきます。

図1

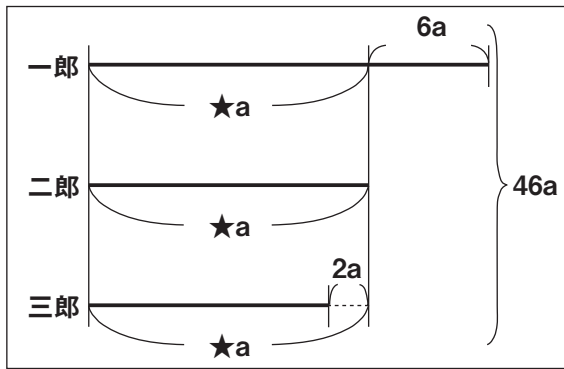


図2

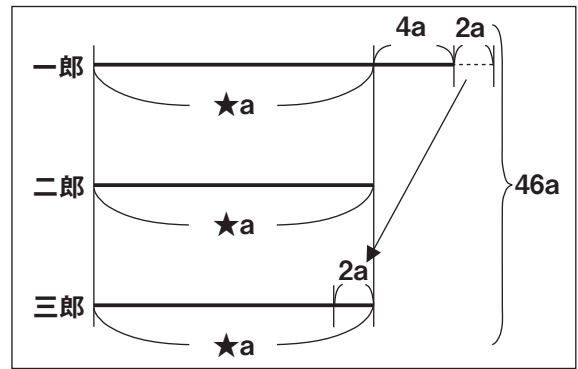


図2にかかれている三人の畑の関係をもとにして考えます。ここでは、一郎さんの畑から $2a$ を三郎さんに移したと仮定しています。その関係を1つの式にまとめると、 $\star + \star + \star + 4 = 46$ となります。よって、(㊦)にあてはまる数は $4(a)$ です。さらに、 \star 3個は $46 - 4 = 42$ となります。よって、(㊱)にあてはまる数は $42(a)$ となります。以上のことから、 \star 1個は $42 \div 3 = 14$ となります。よって(㊵)は $14(a)$ です。

(2) **B1** 情報を獲得する 再現する

(1)で求めた $\star = 14$ であることを利用して、3人の畑の面積を計算すると次のようになります。

一郎 → $\star + 6 = 14 + 6 = 20(a)$

二郎 → $\star = 14(a)$

三郎 → $\star - 2 = 14 - 2 = 12(a)$

図1がもとの畑の面積の関係を表しています。図2とまちがえないように注意が必要です。

(3) **B2** 調べる 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

(3)までの問題で求めた太田さん兄弟の畑の面積と、会話文に書かれた畑の形をまとめると次のようになります。

一郎さん：面積は20aで畑の形は台形

二郎さん：面積は14aで畑の形は長方形

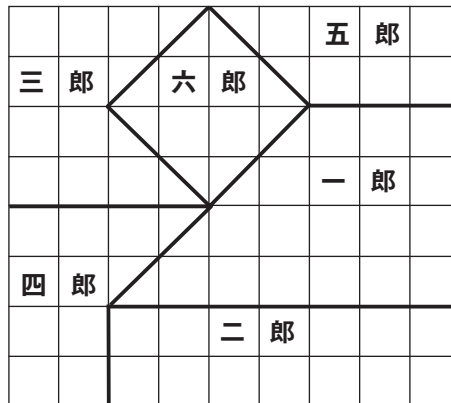
三郎さん：面積は12aで畑の形は形も大きさも同じ台形を2つ組み合わせた形

四郎さん：面積は10aで畑の形は図にある通り

五郎さん：面積は8aで畑の形は図にある通り

六郎さん：面積は8aで畑の形は正方形

1マスが1aを表すこと、1マスの正方形を半分に分けるようにしてできた直角二等辺三角形が0.5aであることを利用すると畑の形が考えやすくなります。まず、二郎さんの畑が、面積14aの長方形であることに着目するとよいでしょう。このとき、畑は2マス×7マスになるので場所が決めやすくなります。また、六郎さんの畑は8aの正方形となっていますが、マス目のたてと横の線にそってつくる正方形は面積が8aにできないため、向きを変えて作るようになります。このようにして考えていくと、次の図のようになります。



③ 小数を題材とした数の大小と場合の数の問題

「できるだけ大きくするため」、「できるだけ小さくするため」には、どのような数のならびにすればよいでしょうか。「6」のカードが「9」のカードとして使えることに注意して、考えられる数をさがしていきます。

(1) **B2** 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 特定の状況を仮定する

右のように、図1を筆算の形に直し、ア～カを決めます。

たし算の答えをできるだけ小さくするには、大きい方の位の数ができるだけ小さくなるようにカードを置けばよいので、「エ」に「1」、「ア」、「オ」に「2」か「3」、

$$\begin{array}{r} \text{ア}.\text{イウ} \\ + \text{エオ}.\text{カ} \\ \hline \end{array}$$

「イ」、「カ」に「4」か「5」、「ウ」に「6」を置きます。すると、 $2.46+13.5$ 、 $2.56+13.4$ 、 $3.46+12.5$ 、 $3.56+12.4$ の4通りの式が考えられます。このとき、たし算の答えはいずれも15.96となります。

(2) **B2** 視点を変える 特定の状況を仮定する

図2のひき算の答えをできるだけ小さくするには、ひかれる数をできるだけ小さく、ひく数をできるだけ大きくすればよいので、ひかれる数は12.3とした場合が最小となります。ひく数は「6」のカードの上下をひっくり返して「9」のカードとして使い、 9.54 とした場合が最大となります。よって、 $12.3-9.54=2.76$ となります。